

科目名		担当教員名	学期
EU会計制度論 Accounting and Disclosure System in EU		小関 誠三	前期 後期
目的	EUにおけるIFRSs（国際財務報告基準）の適用が、EU加盟諸国の会計制度や欧州企業の業績に及ぼした影響について考察し、日本企業がIFRSsの任意適用に際して遭遇すると思われる諸概念の相違について整理し、IFRSsの適用問題の現状について一定の理解を得ることを目的とする。		
概要	現在、日本でのIFRSsの適用は予定を含めて125社ほどである。だが、full IFRSsに日本基準を採り入れた修正国際基準も登場しているように、IFRSsを巡って会計制度の形成が企図されている。本講義では、このような動向に鑑み、IFRSsの適用に纏わる欧州の経験を考察する。そのために、まず欧州単一市場の構想や欧州企業の多国籍化・産業再編の動きとの関係から、EU加盟諸国の会計制度の改革及びEUにおけるIFRSsの承認プロセスの構築を理解する。これを受けて、つぎにEUにおけるIFRSsへの移行が欧州企業の業績に対してどのような影響を及ぼしたのかを財務比率の変化によって明らかにするために、各国基準からIFRSsへの移行のインパクトを、できるだけ多くの欧州企業の事例を素材にして検討する。		
到達目標	IFRSsへの移行によるEU加盟諸国の会計制度の改革やその意義を把握し、さらにその移行による欧州企業の業績分析への影響について考察することによって、IFRSsに基づく会計制度の特徴を理解する。		
成績評価の 基準と方法	授業への参加・貢献度：20% 理解度チェック、プレゼン及びレポート評価：80% なお、授業への出席を前提として授業への貢献があることを銘記されたい。		
履修条件	国際会計の基本的概念を理解していること。		
授業計画			
第1週	☆イントロダクション EU形成と欧州会計指令(トピック:英国のEU離脱)		
第2週	欧州企業の多国籍化・産業再編の経緯 M&Aの増大、産業再編の進展そしてPORSCHEが採用した欧州会社(SE)制度の出現の経緯について考察する。		
第3週	欧州単一市場と会計調和化 EU財務報告戦略の企図を明らかにし、その契機となったとされるDAIMLER-BENZの事例についてみる。		
第4週	EU会計指令の修正と会計機構 IFRSsの適用による会計指令の修正および会計機構の整備について概説する。		

第 5 週	EU における加盟諸国の会計制度改革と個別計算書の役割 フランス、ドイツおよび スペインの会計制度改革を個別計算書との関係からみしてみる。
第 6 週	☆まとめと確認 EU における IFRS 承認プロセスとその有効性について省察する。
第 7 週	欧州企業の IFRSs への移行 1 初度適用のオプション 2 認識・測定の調整項目 3 表示の組替調整項目
第 8 週	欧州企業の IFRSs への移行事例 (1)
第 9 週	欧州企業の IFRSs への移行事例 (2)
第 10 週	欧州企業の IFRSs への移行事例 (3) *状況によってさらに事例研究を加える。
第 11 週	欧州企業の年次報告書の記載事項 財務情報以外の非財務情報 (環境情報、社会情報、利益分配制度など) の意義と統合報告書作成の意義について考える。
第 12 週	IFRSs の適用状況と課題 2006 年以降の欧州企業の IFRSs 適用状況、及びフランスにおける日系企業の IFRSs への対処について紹介する。
第 13 週	財務業績への影響の整理 欧州企業の IFRSs への移行事例に基づいて、業種別に特徴的な処理基準について整理する。
第 14 週	EU 会計制度の特徴 欧州企業の IFRSs 適用事例についてのプレゼンテーションを行う。
第 15 週	☆まとめと課題 CAC40 フランス企業を例として、財務比率に及ぼされた影響について取り纏めを行う。

<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Fourth Council Directive 78/660/EEC of 25 July 1978. ・ Seventh Council Directive 83/349/EEC of 13 June 1983. ・ INEUM; Evaluation of the Application of IFRS in the 2006 Financial Statements of EU Companies, December 2008. ・ Report from the Commission to the Council and the European Parliament—on the operation of Regulation (EC) No 1606/2002 of 19 July 2002 on the application of international accounting standards, 2008. ・ Martean,D. et P. Morand; <i>Normes comptable et crise financière</i>, Imprimerie nationale, 2009. ・ Pierandrei, Laurent ; <i>60 cas d'application sur les norms IAS/IFRS</i>, Gualino éditeur, 2006. ・ Dick,W. et F.Missonier-Piera; <i>Comptabilite financière in IFRS</i>, Pearson,2012. ・ 『IFRS の会計実務』 滝口勝昭著（中央経済社、2009年） ・ 『IFRS 財務諸表への組替実務』 監査法人トーマツ編（中央経済社、2006年） ・ 欧州企業の年次報告書 <p>☆ 上記以外は、テーマごとに指示する。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>【予習】各国規準から IFRSs への適用事例として取り上げられる欧州企業の年次報告書を事前に検討し、講義に備えること。</p> <p>【復習】講義終了後に事前に検討した結果が適切であったか否かを確認するとともに、ポイントとなる講義内容について補完すること。</p> <p>なお、受講人数によって大幅な変更を行う場合がある。したがって、受講希望は必ずガイダンスに参加し、授業内容が自己の関心に合うか確認すること。</p>